

書の芸術性探求

仲川名誉教授に「毎日芸術賞」

「書の芸術性」の探求「数書を中心に」。大作を続ける仲川恭司名誉教授ばかりの17点を、一つ一つ独自の発想で多彩に表した。1月25日、都内の贈呈式で「書の道をまっしぐらに進んでいく」と決意を表明した。

毎日芸術賞は、文学、演劇、音楽、美術、映画などの功績に対して授与されるもので、仲川名誉教授の師・手島右卿氏(元専修大学文学部教授、故人)も50年前に受賞している。

受賞の対象は昨秋、11年ぶりに開催した個展「仲川恭司書作展」少字



「書の道をまっしぐらに進んでいく」と決意を語る仲川名誉教授。1月25日、贈呈式

贈呈式当日、俳人の有馬朗人さん、作家の高村薫さんらとともに賞を受けた仲川名誉教授は「少字書ものがほとんどだった。もっと字数が少なく、海外でも評価されるような作品が書けないか」と思っていた。専大を定年退職(2016年)したあと個展に向かい、燃えるものがいっぱい湧き上がった。こんな世界を求めていたのだと自分自身が感動した。書と触れ合う喜びをたくさんの人と分かち合いたい」と最後は声を詰まらせてあいさつした。

「外国にも花を楽しむ文化はあるが、生ける人の考え方や生き様が表れるのが日本の生け花で独自の文化」と強調する。幼い頃から家元である父・明弘氏に師事し、花に囲まれて育った。専大に入学後、専大経営学部に進学、蔡若錫ゼミで行動科学を学んだ。勉学のかたわら明弘氏のアシスタントを務めた。ネパールの生け花を学んだ。当時の王室の王女と生け花を通じて交流した。

寄付者3氏に感謝状

学校法人専修大学に多額の寄付をいただいた加藤名譽教授(経営学)ら3氏に、日高義博理事長が感謝状を贈った。



左から日高理事長、加藤名譽教授、佐々木学長

会場には松尾治文学部准教授、仲川名誉教授の門下生や専大の卒業生も多数駆け付け、喜びを分かちあった。

なお書作展に出席した作品の一点は本学に寄贈していただくことが決まった。生田キャンパス3号館「蒼翼の間」に飾られる。

加藤名譽教授は1月12日、神田キャンパスを訪れ日高理事長、佐々木重



新しい本

<校友>

人学長らと懇談。24日には川村晃正名誉教授(商学部)、校友の山上直晴氏(昭56法)が来学した。川村名誉教授は「商学部の教育充実に向けて」と語り、山上野球部は早く一部に復帰してほしい」と笑顔で語りを送った。

越後郷愁「はさ木と雁木と警女さん」と著 新淵日報で好評連載された「越後郷愁」シリーズの「越後警女再び」

「残したい越後郷愁のはさ木」「越後郷愁雁木を歩いた人々」(全55回)を加筆再編した。雁木は雪国の商店街などに見られる雪よけの屋根。はさ木は稲架をかける支柱や横木。警女は三味線を弾き歌を歌って渡世する目の見えない女性

新淵日報の詩人の国見修二さん(昭53文)が「越後郷愁」はさ木と雁木と警女さん」とを上梓した。上越市出身の画

専大校友を訪ねて

粕谷 尚弘さん

(平15経営)



型にとらわれず、作意の赴くままに挿す自由花を持ち味にする。一葉式いけ花の次期家元。各地で花展を開き作品を発表、他分野の芸術家とのコラボレーションや舞台挿花にも積極的に取り組む。

「素材の魅力はどう引き出すか。空間や時間も考えながら生けています」海外でもデモンストレーションや指導を行い、生け花の普及に力を入れている。2月初旬にはインドのニューデリーを訪れ、美演を行った。

「素材の魅力はどう引き出すか。空間や時間も考えながら生けています」海外でもデモンストレーションや指導を行い、生け花の普及に力を入れている。2月初旬にはインドのニューデリーを訪れ、美演を行った。

一花を生ける楽しさ体験して

「竹は青々とした表面や節が特徴だが、内面は白く輝き、趣がある。縦に割り、斜めに切ってみるとそれぞれ良い表情が生まれました」初めて生け花を面白いと感じ、自分の道だと実感した瞬間だった。

卒業後は米国に3年間留学。フィラデルフィアの専門学校でインダストリアルデザインを学び、創作の幅を広げた。

東京の高校や大学で「生け花授業を担当している。中野区の一葉式いけ花本部では初心者教室もある。「生け花は見るより挿す方が断然楽しい。学生の皆さんもぜひ体験を」と呼びかけた。

ふるって参加を

新校友歓迎祝賀会

卒業式終了後、校友会主催の新校友歓迎祝賀会を開催します。多くの卒業生のご参加をお待ちしております。

▽日時 3月22日(木)13時30分(卒業式の終了時間によって、若干遅れる可能性があります)▽会場 神田キャンパス1階広場(雨天時は地下1階学生ホール)

校友会情報

- 2017年秋の褒章
 - ▽黄綬褒章
 - 村尾明弘氏(昭53文・愛媛 業務精励)
 - ▽白綬褒章
 - 山之上(前別中央)と日高理事長、佐々木学長ら
- 2017年秋の叙勲
 - ▽旭日双光章
 - 伊達明彦氏(昭42法・山口) 自動車運送事業振興功勞
- 北海道連合校友会旭川支部総会
 - ▽2月17日(土)18時5分▽JR旭川駅から徒歩15分「旭川トヨヨーホテル」岡熊谷憲雄氏(昭90・1521・7070)卒業60周年記念三三三会
- 鹿島グループ専大総会
 - ▽2月16日(金)18時30分▽JR市ヶ谷駅から徒歩2分「アルカディア市ヶ谷」岡中村浩樹氏(昭090・1531・0161)
- 市川支部総会
 - ▽2月17日(土)16時5分▽JR市川駅から徒歩3分「市川グランドホテル」岡宮崎美氏(昭90・6039・8908)
- 町田支部総会
 - ▽4月7日(土)17時30分▽小田急線町田駅から徒歩7分「町田市民ホール」岡松田征士氏(昭80・1019・2805)

募金局からのお願い

専修大学は2019年に創立140年を迎えます。また、石巻専修大学も18年に創立30年を迎えます。学校法人専修大学では、さらなる飛躍と発展を期すため「専修大学創立140年・石巻専修大学創立30年記念事業募金」(募集期間5年間)を設け、広く募集を行っております。皆様方の温かいご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。お申し込み、お問い合わせは「専修大学募金局」(03・3265・3157)へお願い申し上げます。

◆「古本募金」にご協力をお願いします。読み終えた本が学生支援につながります。詳細は<http://www.furuhon-bokin.jp/senshu-u/>

「ニュース専修」年間購読のご案内

「ニュース専修」をご愛読いただきありがとうございます。2018年度(4月から1年間)の年間購読者を募集いたします。購読料は1000円(郵送料含む)です。

※育友会員及び年会費納入済みの校友会員は手続き不要。

※本年3月に卒業される方には、5年間校友会からお送りいたします。

広報課からのお知らせ

〒03-3265-5819
E-mail: koho@acc.senshu-u.ac.jp

年会費納入のお願い

2018年度の校友会年会費を受け付けています。振込用紙の必要ありません。校友会事務局までご連絡ください。年会費納入者には「ニュース専修」トからの変更も可能です。

住所変更のお願い
校友会事務局までご連絡ください。インターネットからの変更も可能です。

届出変更のお願い
校友会事務局までご連絡ください。

校友会事務局連絡先

03-3265-7579 / FAX 03-3265-7086 / E-mail: koyukako@acc.senshu-u.ac.jp